

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 東洋製罐株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5901 URL <http://www.toyo-seikan.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 金子俊治

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員総務部長 (氏名) 清水泰行

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3508-2113

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	360,811	△9.7	13,581	△15.6	14,715	△11.6	7,476	29.1
21年3月期第2四半期	399,554	—	16,094	—	16,639	—	5,789	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	36.31	—
21年3月期第2四半期	28.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	852,994	627,485	66.9	2,770.82
21年3月期	839,043	614,532	66.6	2,714.07

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 570,481百万円 21年3月期 558,800百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	680,000	△7.3	12,000	29.8	12,500	76.8	3,500	—	17.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 216,592,000株 21年3月期 216,592,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 10,702,895株 21年3月期 10,701,835株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 205,889,529株 21年3月期第2四半期 205,893,945株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料において、平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について修正しております。

詳細は、5～6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響による企業収益の大幅な落ち込みが続いているなか、生産・輸出などで回復の兆しが見られたものの、設備投資の抑制が続き、雇用情勢が一段と悪化するなど、依然として厳しい状況で推移しました。

このような環境下におきまして、当社グループは業績の回復を図るべく、生産・販売・研究開発の各分野で業務改革の推進に努めました。当第2四半期連結累計期間における売上高は、夏場の天候不順による包装容器の販売数量の減少や、電気電子部品用材料におけるモバイルパソコン向けなど電池材の販売低迷、海外子会社における為替変動の影響などにより、3,608億11百万円（前年同期比9.7%減）となりました。利益面では、売上高の減少にともない、営業利益は135億81百万円（前年同期比15.6%減）、経常利益は147億15百万円（前年同期比11.6%減）となりました。四半期純利益は、税金費用が減少したことなどにより74億76百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

事業の種類別セグメントの営業の概況は次のとおりです。

#### 〔包装容器関連事業〕

売上高は3,222億12百万円（前年同期比6.0%減）となり、営業利益は129億84百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

#### ①缶詰用空缶・その他金属製品の製造販売

飲料用空缶の売上高は、夏場の天候不順や競争激化の影響を受け前年同期を下回りました。

清涼飲料向けは、主力製品のコーヒー向けが増加しましたが、炭酸飲料・健康飲料向けなどが低調に推移し、わずかに減少しました。

アルコール飲料向けは、新ジャンル（ビール風アルコール飲料）・ビール向けが低調に推移したことにより大幅に減少しました。

飲料用以外のメタル容器では、粉ミルク・入浴剤向けが増加しましたが、ツナ缶詰向けで国内生産が低調に推移したほか、野菜食品向けなどが大幅に減少し、売上高は前年同期を下回りました。

メタルキャップでは、ビール向けのマキシキャップの輸出が市場の低迷などにより減少したことや、タイの Crown Seal Public Co., Ltd. が為替変動の影響を受けたことなどにより、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

#### ②プラスチック製品の製造販売

飲料用ペットボトルの売上高は、夏場の天候不順や競争激化の影響を受け前年同期を下回りました。

500mlを超える大容量ボトルは、健康飲料・ミネラルウォーター向けが低迷したことにより大幅に減少しました。500ml以下の小容量ボトルは、炭酸飲料向けが増加しましたが、お茶類・果汁飲料・紅茶向けが低迷したため大幅に減少しました。プリフォームは、小容量のミネラルウォーター向けが減少しましたが、大容量のお茶類・ミネラルウォーター向けが伸長し増加しました。

一般プラスチックボトルでは、頭髮用品・農薬向けなどが減少しましたが、ドレッシング・ソース向けが伸長したほか、手指消毒剤などの医薬品向けなどが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

プラスチックフィルムでは、マレーシアの Malaysia Packaging Industry Berhad において、医療品向けなどが減少しましたが、国内において洗濯用洗剤向けに詰替用容器が新製品の受注などにより好調に推移したほか、流動食向けが市場の伸長により増加し、売上高は前年同期並となりました。

プラスチックキャップでは、醤油向けで新製品の受注がありましたが、清涼飲料向けが夏場の天候不順の影響を受け減少し、売上高は前年同期を下回りました。

その他、チルド製品向けの飲料用プラスチックコップが、新規受注により増加しております。

#### ③ガラス製品の製造販売

びん製品では、カクテル飲料・薬酒向けで新規受注があったほか、ウイスキー向けなどが増加しましたが、健康飲料・医薬系ドリンク向けなどが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

ハウスウエア製品では、セールスプロモーション品の新規受注などがありましたが、消費低迷の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

#### ④紙製品の製造販売

紙コップ製品では、スープ向けが順調に推移しましたが、飲料コップやヨーグルト向けが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

印刷紙器製品では、ビール類向けのジャケットパックや携帯電話向けが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

段ボール製品では、ビール類・清涼飲料向けなどの一部を除き全般的に減少し、売上高は前年同期を下回りました。

#### ⑤エアゾール製品・一般充填品の受託製造販売

エアゾール製品では、頭髮用品・殺虫剤・洗顔フォームなどが増加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

一般充填品では、殺虫剤・除菌剤・ハンドソープなどが増加し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

#### [鋼板関連事業]

売上高は212億61百万円（前年同期比33.8%減）となり、営業利益は3億94百万円（前年同期比88.0%減）となりました。

#### ①電気電子部品用材料の製造販売

電池材では、海外で乾電池などの1次電池向けが為替変動の影響を受けたことや、2次電池向けがモバイルパソコンなどの販売低迷でリチウムイオン電池の生産が減少し低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。事務機用部材では国内、海外ともに在庫調整があり、売上高は前年同期を下回りました。

電気電子部品用材料全体では、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

#### ②建築・家電用材料の製造販売

ユニットバス向け内装材では、依然として住宅市場が冷え込んでいる中でシェア拡大に努めた結果、数量は前年同期をやや上回りましたが、製品価格の値下がりにより、売上高は前年同期をやや下回りました。冷蔵庫向け外装材では、金属調のラミネート鋼板が大型タイプを中心に採用されたことに加え、エコポイント制度の実施による特需などの影響で好調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

しかしながら、他の内装材が大幅に減少し、建築・家電用材料全体では、売上高は前年同期をやや下回りました。

#### ③自動車部品・機械部品用材料の製造販売

燃料パイプなどの自動車部品用材料では、エコカー減税により販売が増加するなど回復基調にあるものの、市場全体における需要減少の影響が大きく、売上高は前年同期を下回りました。梱包資材用帯鋼では、鉄鋼業界の需要が徐々に上向きつつあるものの本格的な回復には至らず、売上高は前年同期を下回りました。

自動車部品・機械部品用材料全体では、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

#### [その他事業]

磁気ディスク用基板・硬質合金・光学用機能フィルム・機械器具および塗薬・微量元素肥料・顔料・ゲルコート・農業用資材製品などの製造販売、建材用ガラス製品・石油製品などの販売、損害保険代理業および不動産管理業などにつきましては、売上高は173億37百万円（前年同期比29.7%減）となり、営業利益は78百万円（前年同期比96.4%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりです。

日本では、売上高は3,486億83百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は145億56百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

アジア（タイ、マレーシア、中国など）では、売上高は120億37百万円（前年同期比26.8%減）、10億56百万円の営業損失（前年同期は4億1百万円の営業利益）となりました。

その他（米国）では売上高は90百万円（前年同期比23.4%減）、営業利益は0百万円（前年同期比63.4%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における連結子会社の増減は次のとおりです。

#### 連結子会社

##### ・増加（1社）

Toyo Glass Mold (Thailand) Co., Ltd.

##### ・減少（2社）

四国製罐株式会社 ※1

大東製罐株式会社 ※2

※1 四国製罐(株)は、平成21年3月31日開催の同社臨時株主総会にて会社解散決議を行い、同年10月9日付で清算終了いたしました。なお、平成22年3月期第1四半期連結会計期間より、同社を非連結子会社としております。

※2 本州製罐(株)および大東製罐(株)は、平成21年4月1日付で本州製罐(株)を存続会社として合併し、合併後の商号を本州製罐(株)としております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、8,529億94百万円となりました。現金及び預金は減少しましたが、受取手形及び売掛金の増加や設備投資の実施による有形固定資産の増加、また、保有上場有価証券の時価上昇にともなう投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ139億51百万円の増加となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、2,255億8百万円となりました。未払法人税等が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ9億97百万円の増加となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、6,274億85百万円となりました。配当金の支払いがありましたが、四半期純利益やその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ129億53百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.6%から66.9%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて65億49百万円減少し、1,231億86百万円となりました。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が150億37百万円、減価償却費194億10百万円、売上債権の増加による資金の減少153億99百万円、仕入債務の減少による資金の減少26億36百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は172億57百万円となりました。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

包装容器関連事業での設備投資を中心とした有形固定資産の取得による支出が209億15百万円あったことなどにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は213億10百万円となりました。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増減額の減少が5億75百万円、配当金の支払いが10億30百万円あったことなどにより、当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は21億46百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、売上高は、主に飲料容器および鋼板の販売が当初予定より大幅に減少する見通しであることから、前回予想を下回る見込みです。利益面は、売上高の減少による売上原価の低減やコスト削減効果などの利益の押し上げ要因がありますが、売上高の減少にともなう利益の減少を補うまでには至らず、前回予想を下回る見込みです。以上の理由から、平成21年5月15日に公表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたします。

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	700,000	14,500	13,500	6,000	29.14
今回発表予想（B）	680,000	12,000	12,500	3,500	17.00
増減額（B－A）	△20,000	△2,500	△1,000	△2,500	－
増減率（％）	△2.9	△17.2	△7.4	△41.7	－
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	733,746	9,246	7,070	△8,895	△43.20

#### ※ご参考

通期個別業績予想につきましては、売上高は、飲料容器の販売が当初予定より大幅に減少する見通しであることから、前回予想を下回る見込みです。利益面は、売上高の減少にともない前回予想を下回る見込みです。以上の理由から、平成21年5月15日に公表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の通期個別業績予想を修正いたします。

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	330,000	5,000	10,500	6,000	29.14
今回発表予想（B）	326,000	3,000	8,000	3,500	17.00
増減額（B－A）	△4,000	△2,000	△2,500	△2,500	－
増減率（％）	△1.2	△40.0	△23.8	△41.7	－
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	353,043	2,543	7,295	△4,329	△21.03

#### 4. その他

##### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 1. 簡便な会計処理

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

##### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### 1. 在外子会社等の収益及び費用の換算基準の変更

在外子会社等の収益及び費用については、従来、当該子会社等の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均相場による換算方法に変更しております。この変更は、為替相場の変動による影響を、連結会計期間を通じて発生する収益及び費用の換算に、より適切に反映させるために行ったものであります。

これによる当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

###### 2. 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	124,268	129,870
受取手形及び売掛金	218,895	202,268
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	58,615	61,402
仕掛品	10,075	9,554
原材料及び貯蔵品	23,953	23,080
繰延税金資産	9,782	9,559
その他	11,454	11,415
貸倒引当金	△2,789	△2,580
流動資産合計	456,255	446,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	88,858	88,094
機械装置及び運搬具（純額）	71,935	71,205
土地	75,011	74,098
建設仮勘定	18,672	15,742
その他（純額）	9,604	8,765
有形固定資産合計	264,081	257,907
無形固定資産		
3,932		4,759
投資その他の資産		
投資有価証券	91,857	85,249
長期貸付金	809	835
繰延税金資産	25,563	31,655
その他	13,119	14,453
貸倒引当金	△2,624	△2,388
投資その他の資産合計	128,725	129,805
固定資産合計	396,738	392,471
資産合計	852,994	839,043

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,064	79,082
短期借入金	20,080	20,482
未払法人税等	3,607	1,088
事業構造改善引当金	11	262
その他	47,765	48,078
流動負債合計	148,528	148,994
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	182	300
繰延税金負債	2,664	2,505
退職給付引当金	53,449	52,800
役員退職慰労引当金	758	850
特別修繕引当金	5,073	4,757
P C B 対策引当金	636	645
事業構造改善引当金	1,313	1,419
負ののれん	732	857
その他	7,168	6,379
固定負債合計	76,980	75,516
負債合計	225,508	224,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	349	349
利益剰余金	559,870	553,111
自己株式	△18,622	△18,620
株主資本合計	552,692	545,935
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,129	17,141
繰延ヘッジ損益	△1,085	△496
為替換算調整勘定	△2,254	△3,780
評価・換算差額等合計	17,789	12,865
少数株主持分	57,003	55,731
純資産合計	627,485	614,532
負債純資産合計	852,994	839,043

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	399,554	360,811
売上原価	341,610	307,681
売上総利益	57,943	53,130
販売費及び一般管理費	41,849	39,549
営業利益	16,094	13,581
営業外収益		
受取利息	572	435
受取配当金	1,190	897
受取賃貸料	1,071	1,016
負ののれん償却額	173	131
持分法による投資利益	—	7
その他	2,209	1,497
営業外収益合計	5,217	3,985
営業外費用		
支払利息	268	235
固定資産賃貸費用	703	583
固定資産除却損	247	231
持分法による投資損失	145	—
その他	3,306	1,800
営業外費用合計	4,672	2,851
経常利益	16,639	14,715
特別利益		
固定資産売却益	4,631	322
退職給付制度変更差額	83	—
特別修繕引当金戻入額	527	—
特別利益合計	5,242	322
特別損失		
減損損失	2,224	—
特別損失合計	2,224	—
税金等調整前四半期純利益	19,657	15,037
法人税等	9,811	6,706
少数株主利益	4,056	854
四半期純利益	5,789	7,476

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	198,347	178,513
売上原価	171,999	152,422
売上総利益	26,348	26,091
販売費及び一般管理費	21,268	19,548
営業利益	5,079	6,543
営業外収益		
受取利息	342	238
受取配当金	350	325
受取賃貸料	535	487
負ののれん償却額	87	65
持分法による投資利益	—	2
その他	984	330
営業外収益合計	2,301	1,450
営業外費用		
支払利息	116	102
固定資産賃貸費用	392	292
固定資産除却損	95	74
為替差損	—	621
持分法による投資損失	71	—
その他	2,413	994
営業外費用合計	3,091	2,086
経常利益	4,289	5,907
特別利益		
固定資産売却益	4,631	322
特別修繕引当金戻入額	527	—
特別利益合計	5,159	322
特別損失		
減損損失	2,224	—
特別損失合計	2,224	—
税金等調整前四半期純利益	7,224	6,229
法人税等	3,479	3,019
少数株主利益	2,573	744
四半期純利益	1,171	2,464

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,657	15,037
減価償却費	19,938	19,410
減損損失	2,224	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△255	1,155
受取利息及び受取配当金	△1,763	△1,332
支払利息	268	235
持分法による投資損益 (△は益)	145	△7
固定資産売却損益 (△は益)	△4,647	△390
固定資産除却損及び評価損	172	240
投資有価証券売却損益 (△は益)	△160	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,209	△15,399
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△867	1,873
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,633	△2,636
その他	△1,464	△2,205
小計	17,672	15,979
利息及び配当金の受取額	1,756	1,419
利息の支払額	△227	△270
移転補償金の受取額	1,014	—
法人税等の支払額	△2,259	△1,070
法人税等の還付額	—	1,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,956	17,257
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,989	△20,915
有形固定資産の売却による収入	7,753	440
投資有価証券の取得による支出	△296	△5,051
投資有価証券の売却による収入	196	28
投資有価証券の償還による収入	—	5,006
関係会社株式の取得による支出	△230	—
関係会社出資金の払込による支出	△293	—
その他	△1,052	△818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,912	△21,310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△673	△575
長期借入れによる収入	379	—
長期借入金の返済による支出	△2,410	△207
自己株式の取得による支出	△5	△1
少数株主からの払込みによる収入	602	—
配当金の支払額	△1,036	△1,030
少数株主への配当金の支払額	△277	△225
その他	△8	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,430	△2,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△706	705
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,092	△5,493
現金及び現金同等物の期首残高	132,788	129,736
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	502	109
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△1,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	129,199	123,186

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	包装容器 関連事業 (百万円)	鋼板 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	169,558	16,138	12,650	198,347	—	198,347
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	120	10,962	1,344	12,427	△12,427	—
計	169,679	27,100	13,995	210,775	△12,427	198,347
営業利益	2,999	700	1,142	4,842	237	5,079

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	包装容器 関連事業 (百万円)	鋼板 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	157,336	11,340	9,836	178,513	—	178,513
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	281	10,870	1,081	12,233	△12,233	—
計	157,618	22,210	10,918	190,747	△12,233	178,513
営業利益	5,077	878	653	6,609	△66	6,543

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	包装容器 関連事業 (百万円)	鋼板 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	342,755	32,134	24,664	399,554	—	399,554
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	299	22,258	2,724	25,283	△25,283	—
計	343,055	54,393	27,389	424,837	△25,283	399,554
営業利益	10,603	3,287	2,178	16,069	24	16,094

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	包装容器 関連事業 (百万円)	鋼板 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	322,212	21,261	17,337	360,811	—	360,811
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	404	22,031	2,303	24,739	△24,739	—
計	322,616	43,293	19,640	385,550	△24,739	360,811
営業利益	12,984	394	78	13,457	123	13,581

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な製品

- (1)包装容器関連事業……空缶製品、プラスチック製品、ガラス製品、紙製品等
- (2)鋼板関連事業……鋼板、鋼板加工製品等
- (3)その他事業……塗薬、顔料、磁気ディスク用基板、機械器具、石油製品等

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	190,082	8,203	62	198,347	—	198,347
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	763	930	—	1,693	△1,693	—
計	190,845	9,134	62	200,041	△1,693	198,347
営業利益	4,925	247	0	5,173	△93	5,079

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……タイ、マレーシア、中国、シンガポール

(2) その他……米国

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	172,243	6,208	61	178,513	—	178,513
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,555	398	—	1,954	△1,954	—
計	173,799	6,607	61	180,468	△1,954	178,513
営業利益又は営業損失(△)	6,812	△546	0	6,266	277	6,543

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……タイ、マレーシア、中国

(2) その他……米国

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	383,004	16,431	118	399,554	—	399,554
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,649	1,140	—	2,789	△2,789	—
計	384,653	17,572	118	402,344	△2,789	399,554
営業利益	15,624	401	0	16,026	67	16,094

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……タイ、マレーシア、中国、シンガポール

(2) その他……米国

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	348,683	12,037	90	360,811	—	360,811
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,932	1,049	—	4,981	△4,981	—
計	352,616	13,086	90	365,792	△4,981	360,811
営業利益又は営業損失(△)	14,556	△1,056	0	13,500	80	13,581

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……タイ、マレーシア、中国

(2) その他……米国

## 〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	14,537	3,521	18,059
II 連結売上高（百万円）			198,347
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.3	1.8	9.1

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア ……タイ、中国、韓国、シンガポール

その他の地域……米国、ロシア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	9,732	1,504	11,237
II 連結売上高（百万円）			178,513
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.5	0.8	6.3

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア ……タイ、中国、シンガポール

その他の地域……米国、ロシア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	28,813	6,545	35,359
II 連結売上高（百万円）			399,554
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.2	1.6	8.8

（注）1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア ……タイ、中国、韓国、シンガポール

その他の地域……米国、ロシア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	18,337	3,796	22,134
II 連結売上高（百万円）			360,811
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.1	1.1	6.1

（注）1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア ……タイ、中国、シンガポール

その他の地域……米国、ロシア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。